

## ハッピーなマンデーを！

→「どんな形が見えてくるかな？」  
押した手形を、回転させてみたりしながら考え中。



昨年から開始した「ハッピーマンデー」プロジェクト。子どもも大人も「今日は行きたくないなあ」と憂鬱な月曜日。そんな月曜日を「待ち遠しい楽しみな」日に変えていきたい、「マンデーをハッピーに」をテーマに、毎週月曜日ににじいろひろばで開催しています。

10時30分～16時30分までの開催時間中は、どなたでも自由に出入り可能です。親子での参加も保護者だけの参加も小学生以上は子どもだけの参加もOK。

「回」として制作内容が変わりますので、ひろばやHPのチラシを見て、お好きな回にご参加ください。もちろん毎回の参加も大歓迎です！今回は、「これまでの製作内容の一例を」紹介します。



↑慎重に食パンの耳を切っている様子。  
このあと、オニオングラタンスープに入れておいしく頂きました！

制作が好きな人も苦手意識がある人も、お話をしたい人も、みんなで楽しい居場所にしていきましょう。  
これからも、みなさんの「こんな」とやつてみたい！」を聞かせてくださいね！  
(やくちゃん)

## 第三十二号 特定非営利活動法人にじいろクレヨン

# にじいろクレヨン通信



に  
じ  
い  
ろ  
ク  
レ  
ヨ  
ン



△手形・足形アート△  
子どもたちの手形や足形をとり、シールやペン、画用紙を使って好きなようにデコレーション・ハロウィンやクリスマスなど季節に応じたデコレーションも素敵です。日にちを書き込んでおけば、子ども成長記録にもなります。

### △料理△

月末の回は調理をメインに開催しています。季節に合わせて恵方巻や桜餅、農園の野菜を使った調理も！みんなでいろんな具を持ち寄ってのおでんパーティーやたこ焼きパーティーも行いました。

初めて包丁を使って食材を切ったり、フライパンで焼いたりする真剣かつ楽しそうな子どもたちの姿も。

←ちいさな手形から、サンタクロースやトナカイに変身！

## つながりの輪

↓ 気を付けて、ゆっくり日に近づく様子



にじいろ農園活動では今年度も、農業と遊び場の活動を行っています。平日の午後3時から活動を行っていますが、活動に未就学児親子の参加が増えました。  
「〇〇くん、一緒に鬼ごっこしよう。」など、小学生が未就学児の子に声をかけ、一緒に関わる姿が見られるようになります。  
たき火や大縄など親御さんが小学生の遊びに協力したり、小学生と未就学児親子がお互いに名前で呼び合える関係になっています。

毎月1回、日曜日に農園イベントを実施し、そこに高校生のボランティア参加も少しずつですが増えてきました。高校生と小学生が関わって一緒に遊んだり、おしゃべりしたり、一緒に場づくりをしています。

今後も未就学児から高校生、大学生まで異なる年齢の関わりや子どもと大人のつながりの輪が広がっていくように活動を継続していきます。(あらぽん)



↑ 高校生と一緒に鯉のぼりづくり



⇒小さな紫のお花がいくつか咲いています。これから何が実るでしょう?

⇒人間以外にも、野菜の成長を心待ちにしている生き物が。おいしかったかな?残りの実は、草に隠しておきました。次は食べたいな。

たまたま、味噌汁屋さん兼マツサージ屋兼アメリカンドッグ屋になつたり、店長が顆粒だしに手を出してみたり、店長のもとに弟子入り希望者があらわれたり、毎回ドラマチックな展開が巻き起こる「味噌汁みはる」から目が離せません!

(ぶーちゃん)



☆日々の活動の様子や最新情報は、にじいろクレヨンのブログ、その他SNS(インスタグラム、フェイスブック)で更新中!  
一緒に子ども達をサポートしてくださるボランティアも募集しています! 詳しくはにじいろクレヨンHPをチェックしてくださいね!



## 味噌汁みはる 開店



お絵描き教室ゴコツカンでは、制作活動の一環として、毎回調理コンテンツを準備しています。何を作つ食べたいか事前に子どもたちから聞き取りをして、食材や調理器具の準備をします。

ある日一人の少年から「ダシから味噌汁を作りたい」と提案があり、カツオ節削り機、カツオ節、ダシ昆布、煮干しなどを用意しました。

具材は旬の野菜を中心に、毎回味噌汁作りが恒例になり、回数を重ねることに美味しいさもプラスショアツプされていきます。お店の名前は言い出しひべの彼が店長になり、「味噌汁みはる」と名づけました。



## 活動報告（2023年4月～24年3月）

令和5年度の活動参加人数を記載しています。令和5年度事業報告および決算、令和6年度事業計画および予算についてはにじいろクレヨンHPにも記載しておりますので、是非ご覧ください。

	にじいろ農園 プレーパーク	にじいろ ひろば	移動型 プレーパーク	ポジティブ・ ディシプリン®	合計
活動回数（回）	296	184	17	11	508
子ども 参加人数（人）	2,887	2,748	285	39	5,959
大人参加人数 (人)	1,414	1,358	179	91	3,042
ボランティア 参加人数（人）	94	0	9	48	151

令和6年度総会にて、2023年度の活動報告を行いました。

今回は4度目となるオンライン開催で、兵庫、愛知、東京、仙台、石巻と全国から正会員の方にご参加いただきました。

ここ数年は、当遊びに来ていた子が高校生になって数年振りにボランティアとして再会したり、お手紙をもらったりすることが増えました。当時の遊び場での出来事をそれぞれが『楽しい記憶』として覚えてくれているのを聞くと、長い間活動を続けてきてよかったですなあと感じます。

いま遊びに来ている子ども達にとっても、にじいろで過ごした思い出や記憶がその子を支えるもののひとつになっていたらいいなあ。

全国の皆さんに様々な形で応援いただきながら、14回目の夏を迎えていました。(なるみん)



### おんちゃんししよう つぶやき

#### 既視感



名前：柴田滋紀（しげき）  
通称：おんちゃんししよう  
にじいろクレヨン代表。  
石巻出身。

最近おんちゃんししようは遊び場作り居場所作り活動にプレーヤーとして入っています。そこで感じるこの既視感はなんだろうと思うことがあります。10年前、避難所や仮設住宅で遊んでいた頃、しようと子どもたちが棒やバット（金属）を振り回したり、車に石を投げたりしていて、制止するのめちゃくちゃ大変でした。震災後すぐで、つらいこと、悲しいこと、苦しいことが重なり、心が荒れて、そのような反応や行動をしていたんだなあと思っています。

ところが、震災から13年経つ今も、畠の遊び場でバットを振りてベンチを叩いたり（叩くというより殴ったりのほうが正しい）、草刈り鎌を振り回したりする子どもの姿を見かけます。学校でのストレス、家でのストレス、放課後のストレス、友達とのストレス、何か溜まっているものがあるんだなあと感じます。ということは、子どもたちのすさんだ心は震災由来の原因だけでなく、日本社会のもっと根深い、もっと普遍的なところにあるのではないかと思うようになりました。

ちなみに、ハサミや包丁の使い方を小さい子に教えるように、いろんな道具の使い方や危険を伝えなければ、何を持つても凶器になるし、脅威にもなります。かまってほしい」「自分を見てほしい」「気づいてほしい」そんな子どもたちが、今日も大きな声で叫ぶ。高いところに登りたがる。棒を振り回したがる。おんぶや抱っこをせがむ。子どもたちの言葉にならない叫びを受け止め、安心できる居場所が必要なことを社会に伝え、何とかかんとかこの活動を続けていきたいと改めて思いました。

ちなみに、おんちゃんししようのおじいさん50年前、地域の子どもが土日に暇を持て余して不良になるくらいなら剣道させよう、と石巻で最初の少年剣道道場を開いたそうです。たぶんやつてることは変わらん気がするなー。

（メールマガジン2024年5月号より）

## ランチタイムを一緒に♪

～気質ってなんだら？～

本団体の活動は

「石巻市心の復興事業」  
「2024年度ハタチ基金助成金」

「石巻市移動型ブレーク支援事業補助金」

「社会課題解決みやぎチャレンジプロジェクト助成事業」  
「キユーピーグループマッチングギフト制度【OPeace】」

「ソフトバンク株式会社つながる募金」

「一般財団法人愛知援 福祉振興会」

「Sayo'sプロジェクト」

「安藤スポーツ・食文化振興財団トムソーヤスクール企画」

「石巻助産師会」

「公益財団法人JKKA競輪とオートレースの補助事業」

「からの助成・寄付を受けて実施しています。(順不同・敬称略)皆さまの温かい」支援に感謝申し上げます。

ひろばでは昨年の6月から約3年半ぶりのランチタイムを再開し1年が経ちました。コロナ禍でひろば利用の制限がかかりランチの利用ができなくなっていたのでランチタイムを再開できた時には喜んでくれる親子もいました。

最初は利用する親子も少なかつたのですがランチタイムを利用している親子を見て「次はお昼をもつてこようと思いますー！」といった親子が増え、最近はランチタイムを利用する親子も増えてきています。

お弁当を作る自信がないというお母さんには「お昼は簡単にパンとバナナとかでもいいんだよ。」「おにぎりをこんな感じに小さくまるめると外出時もいいよ。」などなど、ランチをしながらお母さんたち同士でアイディア交換会が行われています。子ども達もほかの子と一緒に食べる」というお母さんにとっては「お昼をもつてこようと思いますー！」といった親子が増え、最近はランチタイムを利用する親子も増えてきています。

まず、大前提としてどの気質にも良い、悪いはありません。ただ違うというだけ。気質の一つの例として、「活動性」というものがあります。ずっと動いていても平気な人もいれば、じっと座っていることが平気な人もいますよね。「どの子も同じように関わっていても、どうしてこんなに反応が違うのかな?」「兄弟(あるいは親子)でも全然違うなあ。」といふことも少なくないのではないか。  
どちらかが一方が落ち着きがない子、だらだらしている子なのではなく、「これこそが生まれ持った気質の違い」と言えるでしょう。



「気質」を通して、お互いを理解しあえるようになれたら、それぞれの強みや、苦労する」といったて、きっと今までと違う気づきや見え方があるは



### ～編集後記～

先日、近所のスーパーのペットボトル回収機の前で困っているおばちゃんに出会いました。投入口でボトルが詰まってしまったようで係の人を呼んで無事解決。「はじめて使ってみたのよねー」と楽しそうな様子で、つられて「かわまで楽しい気分になりました。子供の頃と同じように、初めての出来事にチャレンジしてみたり、わくわく楽しめる大人でいたいなと思っています。(担当 なるみん)

### にじいろクレヨン賛助会員募集中！



JKA Social Action  
就農とセカンドキャリアの支援事業

活動に賛同してください「にじいろクレヨン賛助会員」を募集しております。  
皆様のご協力をよろしくお願い致します。

詳細はホームページをご覧ください。  
<http://nijiiro-kureyon.jp/>



### 支援団体ご案内